

# 丹波地域 環境パートナーシップ会議

## 情報誌



アサギマダラ チョウ目タテハチョウ科

2~3 ページ

### 丹波地域の希少種紹介

- 【植物】・クリンソウ  
・バイカモ
- 【動物】・ホトケドジョウ

4~6 ページ

### 活動報告

- ・NPO 法人  
バイオマス丹波篠山
- ・梶自然愛好会
- ・丹波市教育委員会

7~8 ページ

### 表彰関係

- ・兵庫県功労者表彰受賞  
兵庫丹波オオムラサキの会会長  
足立隆昭氏
- ・環境保全功労者知事表彰受賞  
森自然環境保全友の会
- ・「みどりの日」自然環境  
功労者環境大臣表彰受賞  
丹波地域のホトケドジョウを守る会



オヤニラミ スズキ目ケツギョ科

## 多紀連山のクリンソウ (サクラソウ科サクラソウ属)

クリンソウは日本固有種とされ、比較的冷涼な湿地に自生するサクラソウの一種です。5月初旬から6月初旬にかけて、下段より順次上に花をつけ、一本の花軸に数段輪生して花をつける様子が仏塔の先端にある九輪に見立てて「九輪草」と名付けられています。

兵庫県は、この多紀連山のクリンソウ自生地は規模においても、質的にも全国的価値に優れた植物群落として「兵庫県版レッドデータブック2020:湿地植生Aランク」に指定しています。約4,300㎡の場所に17万株が自生していると推定されています。

クリンソウは、鹿等の野生動物が食べない忌避植物であるため、鹿が増加して他の植物が減り、クリンソウが増えたと推定されています。しかし、近年では鹿がクリンソウを食べるようになったとの報告もあります。



## バイカモ (キンポウゲ目キンポウゲ科)

バイカモは多年草の水草で初夏から秋にかけて梅の花に似た白い花をつけます。水温が常に15℃~17℃くらいの低温で生育しており、水質が悪化すると枯れるため水のきれいなことを示す指標植物とされています。

丹波市では加古川上流の青垣町芦田地区の佐治川と遠阪川に分かれるあたりから上流部に至る川底にバイカモの自生が点在しています。

茎は1.5mくらいにも伸び、茎の節からは白い根をおろしており、葉は3~5cmで3~4回分岐し、糸状・房状に広がっています。がく片、花弁ともに5個、夏の最盛期は白い花が見事な景観を見せます。

バイカモは、「兵庫県版レッドデータブック2020」でBランクに指定されており、兵庫県では丹波市を含め2市5町で分布が確認されています。

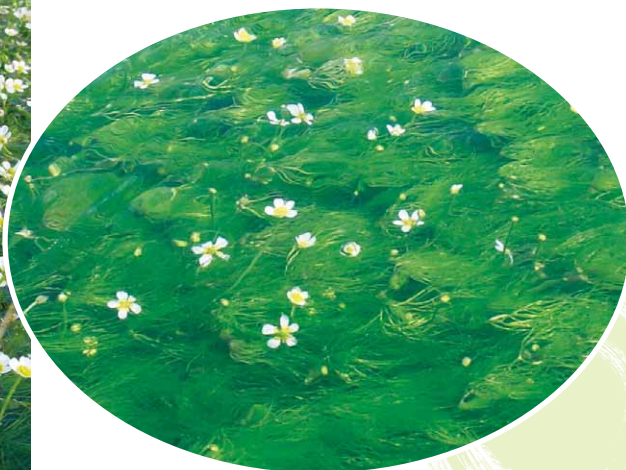
### ホトケドジョウ (コイ目ドジョウ科)

ホトケドジョウは、日本の固有種で、青森県を除く東北以南の本州に生息し、兵庫県丹波市の加古川水系が最も西側に位置します。

成長すると約6cm、口ひげが4対8本、からだ全体に小さい暗色点があります。

湧水周辺の水草が生い茂る湿地や流れの緩やかな小川などに生息していますが、現在、兵庫県内では丹波地域の6箇所ですしか生息が確認されていません。ホトケドジョウは、環境省レッドリストには絶滅危惧種IB類 (EN)、兵庫県版レッドリスト2017には、Aランク指定されています。

全国的にも個体数が減少しており、このままでは絶滅してしまう恐れもあります。





## NPO法人バイオマス丹波篠山

NPO法人バイオマス丹波篠山では、持続可能な社会を創る人づくり、実装できる活動を推進しています。具体的には丹波地域のサトヤマ経済の再生の起爆剤である丹波篠山木の駅プロジェクト、加古川水系流域連携プロジェクト、里山の英知を教え育むサトヤマ環境教育、地域産材の利活用から炭素固定、木質バイオマスの利活用から低炭素社会の構築と幅広く活動しています。

木の駅プロジェクトで集まる木材は木質ペレット、薪などに利用し丹波篠山市内の温浴施設をはじめ、ペレットストーブユーザーに利用してもらっています。

流域連携では丹波篠山の水を東播用水路に通水し下流域7650haの農地を潤していることから農業関係者が丹波篠山の里山水源涵養機能回復の為に里山整備活動に参加してくれています。

サトヤマ環境教育では、伐採技術の承継とサトヤマ多面的機能の学習を行っています。間伐の意義（光合成の増強）と、その間伐材の利用（クデジュー）から木材利用、モノづくりの喜びを学んでもらっています。



サトヤマ環境教育



丹波篠山産木質ペレット



木の駅プロジェクトの模式図



流動連携の1コマ

## 梶自然愛好会

梶自然愛好会は、平成5年度に梶自治会の有志の働きかけにより発足し、本年度で30周年を迎えます。高齢化により会員数も減少してきていますが、現在も、継続中の事業の推進など、日々活動を行っています。

活動の一環として、野鳥棲息調査を行っています。平成17年度から平成26年度までの年間90回の移動調査をスコープ・双眼鏡を使って完遂しました。平成27年度より週1回（年間52回）の調査を継続中です。

他にも、トライやるウィークで中学生の受け入れも行っています。平成13年から受け入れを開始して現在まで120名を超える生徒の受け入れを行ってきました。本年度は5名の生徒の受け入れを行い、岩屋谷川での定置網やモンドリ等を用いた水生生物捕獲調査やモリアオガエル・シュレーゲルアオガエルの卵塊調査を行いました。最終日には、夜間に、和田地区内でヒメボタルの棲息調査も行いました。

### 【R5年度 野鳥調査結果報告】

『丹波市 山南地域』

- ◎ 調査地域概図 P 1
- ◎ 調査結果推移表 P 2~11
- ◎ 調査時の気象状況・調査結果 P 12~23
- ◎ 調査結果総括 P 24~25
- ◎ 年毎確認結果 P 26~27

※ 調査結果詳細は、印刷及び製本省略。  
(必要な方は、藤原 利正 まで 090-5041-9962)

R6年 4月 末日  
梶 自然愛好会

野鳥調査結果報告



ヒメボタル幼虫調査



和田小学校 感謝状

## 丹波市教育委員会

丹波市教育委員会では、地域の魅力ある教育資源（人・もの・こと）を活用し、ふるさとへの愛着や誇りを持った子どもたちを育む教育「たんばふるさと学」に、全ての小学校で取り組んでいます。

中でも、自然環境に関する学習には、各々の校区にある自然やそれに関連する環境問題を題材として、探究的な学習に取り組む学校が多くあります。子どもたちの探究活動を深めるためには、その地域の自然に詳しい方の協力が不可欠です。各学校では、丹波地域環境パートナーシップ会議の会員の皆様をはじめ、自然を愛する地域住民に、「たんばふるさと学」のゲストティーチャーとして関わっていただいております。

このように、地域の方とともに進める「たんばふるさと学」を通して、子どもたちは、生物の多様性や相互性、身近な自然の有限性などの理解を深め、自然愛護の心を育てています。



バイカモの観察



田んぼで生き物採集



地域の川探検



当帰(葉)の収穫体験



生き物の生態を学ぶ



校区内の川で生き物採集

令和6年度

## 兵庫県功労者表彰(環境功労)

# 受賞おめでとうございます



兵庫丹波オオムラサキの会会長の足立隆昭氏が令和6年度兵庫県功労者表彰を受賞されました。

足立隆昭氏は、兵庫丹波オオムラサキの会会長として、「国蝶オオムラサキの舞う里山づくり」事業において、指導・助言を行い、オオムラサキが飛翔する空間と丹波の里山文化の創造に向けた活動を行われています。

令和6年度

## 環境保全功労者知事表彰

# 受賞おめでとうございます



「森自然環境保全友の会」が令和6年度環境保全功労者知事表彰を受賞されました。

貴会は、里山の生態系に手を加えることは最低限にすることを意識しながら、兵庫県版レッドデータブック2020でCランクに指定されているセツブンソウの植栽・育成、里山の草刈りなどを行い、セツブンソウや里山の保全に努められました。

令和6年度

## 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

# 受賞おめでとうございます



「丹波地域のホトケドジョウを守る会」が令和6年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞されました。

貴会は、2006年に発足し、希少種であるホトケドジョウの継続的なフィールド調査、大雨による土砂流入や個体流失を防ぐための生息地の改善、局所的な絶滅を防ぐための危険分散地の確保などホトケドジョウの保全に努めているほか、小学校での環境学習の一環としてホトケドジョウの飼育の指導や地元自治会での学習会等の啓発活動に尽力されています。



皆さまからのご意見・ご感想  
お待ちしております！



編集・発行

### 丹波地域環境パートナーシップ会議

事務局 兵庫県丹波県民局県民躍動室環境課  
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688  
TEL 0795-73-3877  
FAX 0795-72-3013